

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 2 日現在

機関番号：27101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24530310

研究課題名(和文) 計画期中国経済への数量経済史アプローチ：改革開放へ向けての制度変化の内生的

研究課題名(英文) An econometrical approach for China's planned economy

研究代表者

白石 麻保 (Shiraishi, Maho)

北九州市立大学・外国語学部・准教授

研究者番号：40425004

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：中国計画経済期の国営企業の技術面での特徴として、生産性は幾つかの政治的要因によるダメージを長期に受けることはなく上昇もみられ、また技術進歩の特徴は当時の中国の生産技術条件に適合した形であった。当時、政府や他の産業の生産状況に規定された行動を採らざるを得なかった当時の国営企業は、一定の条件のもとでは政府の指令に従うだけでなく主体的な意思決定を行っていた。計画経済システムの限界とその後の改革開放政策導入の意義について、配分効率性の面では計画経済システムでは解決できない問題が改革開放政策の導入によって解決される可能性がある。

研究成果の概要(英文)：Productivity of state owned enterprises had been boost even in a planned economy era of China, they had not seriously received influence in long term from social and political disorder such as Great Leap Forward, Cultural Revolution. State owned enterprises which should obey government's order made decision by themselves under certain situations those days such as lack of materials, labors, working capital and so on. Inefficiency of resource allocation had not been able to improve until the start of economic reform.

研究分野：開発経済学

キーワード：経済政策 発展途上国 移行経済 中国

1. 研究開始当初の背景

計画経済期に対する現代中国経済史の数量経済史的研究は、研究開始当初、開始段階にあり、先行研究の蓄積が徐々に進みつつあり、今日的な経済学的枠組みを用いた実証研究の可能性が示唆されていた。

当時の国営企業の過少雇用問題を取り扱った実証分析を行った Dong and Putterman (2000, *Journal of Comparative Economics* 28) をはじめ、農業・工業部門間の関係を取り扱った Imai (2000, *Journal of Comparative Economics* 28)、当時の生産性推移をマクロデータにより分析した Chen et al. (1988, *Journal of Comparative Economics* 12) 等である。また計画経済期の個別政策に注目したものに、大躍進政策を取り扱った Li and Yang (2005, *Journal of Political Economy* 113)、Zhang et al. (2007, *Journal of Development Economics* 84) 等もある。その他、Weeks and Yao (2003, *Econometric Reviews* vol.22, No.1)、Wang and Yao (2003, *China Economic Review* 14) 等も中国計画経済期の数量分析を行っている。

以上のように、個別の開発政策研究、或いは事実発見的なレベルでの数量経済史研究においては一定程度の成果が見られ、中国計画経済期の実態の空白が一部埋められつつあった。

一方で、文献資料では、中国の計画経済システムは必ずしも厳格に運営されたものではなく、生産活動においては地方や現場レベルでそれぞれ独自の行動が採用されるケースもみられることが指摘されてきていた。例えば、本来計画経済システムの下での企業は、全体の計画に基づいて矛盾なく企業運営が行われることが目指されることが理想とされていたが、実際には、経済発展のレベルとの関係で、企業の行動が変化する可能性があること、そして中国のケースでは、計画経済以前の生産力の発展水準が低く、また分業体制も十分に整っていなかったことが指摘されていた。

本研究では、これらの先行研究の流れを受けて、上述の指摘のような計画経済の厳格ではない運営が、企業の成長、企業行動、そして経済発展にどのような影響を与えたのかを開発経済学的枠組みから実証的に解明することが具体的課題となった。

2. 研究の目的

中国計画経済の運営の仕方と、経済発展との関係を明らかにすることを目的とする。特に、厳格ではない中国の計画経済運営が、経済発展にどのような影響を与えたかに注目する。

計画経済運営が厳格ではないという点の具体的現象として、計画経済下における経済主体の計画外行動のあり方に着目し、それが持つ市場経済的様相の強さと後の市場経済化及び経済発展との関係について、中国のケースの実証的解明を試みる。

3. 研究の方法

3つのプロセスを経て本研究課題にアプローチした。

(1) 中国計画経済時代の国営企業の取引実態の質的把握、及び信用取引を含む計画経済期経済主体の計画外行動の質的、量的把握を行う。

(2) 企業の技術及びその行動(様式)に関する実証モデルの設計及び推定を行う。

(3) 市場経済化、経済発展と計画外行動の様式の関係についての検証を行う。

以上を通じて計画経済期経済主体の経済活動がもたらす市場経済化への転換、及び経済発展に対する影響を解明する。

各プロセスへのアプローチは、現地でのフィールドワークに基づく資料収集、及び文献収集による記述的資料の作成を経て作業仮説を構築し、それらを長期マクロデータ及びマイクロデータを用いて検証する、というステップで行われた。

4. 研究成果

本研究課題の遂行によって、明らかにされた点は以下の通りである。

(1) 計画経済期の国営企業の生産性は、一時的な落ち込みがありながらも、全体としては上昇傾向にあった。計画経済期のいくつかの時期に見られた政治的混乱は、企業の生産性に恒久的な打撃を与えたのではなく、数年を経て生産性は回復していることから、あくまでも一時的なものであったと考えられる。

(2) 中国計画経済期の工業部門における技術進歩の特徴は、生産関数分析の結果からみると、労働使用的なものであり、当時の中国の要素賦存状況に符合していた。一方で実際に投下された資本と労働の比率、即ち実際の生

産要素投下量は当時の中国の資源賦存状況に符合していない。

(3) 企業行動は、市場経済下の企業のそれとは異なるものの、計画経済システム下であっても、資金（調達）の不足等の局面においては、主体的意思決定をしていた。

(4) 市場経済下の企業の主体的意思決定との差異は、固定資産の増加や、特に小規模企業において物価の上昇によって拡大する。一方でその差異を縮小する要因には、流動資金の充足度がある。

(5) 計画経済期中国全体における非効率性問題は、主として企業間、経済全体での資源配分の非効率性により生じていたことが示唆された。

(6) 改革開放政策・市場経済化は、それまでに技術効率性が相対的に低かった企業の他企業への吸収・合併、或いは閉鎖等を通じた淘汰を可能にした。また、このような改革開放政策のもとで可能になった企業淘汰は、経済全体の資源配分効率性の上昇をもたらした可能性が高い。

(7) 計画経済期における資源配分については、流動資金の限界生産性についてみると、個別企業間格差は次第に縮小し、流動資金配分の効率性には改善がみられた。そして計画経済期における流動資金の配分効率性のある程度の改善は、その後、即ち改革開放・市場経済化政策への転換後の企業淘汰メカニズムの機能、及びそのための制度導入をスムーズに行う前提条件を提供したと考えられる。

(8) 本研究課題の遂行を通じて、当時のマイクロデータは今日的な経済学的フレームワークからの実証研究に耐えうるものであり、また、開発経済学的視点からの中国経済研究へのアプローチも、現代的政策提言を可能にするという意味で有効であることが示された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

① Go Yano and Maho Shiraishi (2014), "Factors in the Development of Trade Credit: Case Study of Provinces in China", *Emerging Markets Finance & Trade*, March–April 2014, Vol. 50, Supplement 2, pp. 114–134, The Society for the Study of Emerging Markets (SSEM), 査読有.

② 白石麻保・矢野剛 (2013)「中国企業間信用のメカニズム分析—蘇南地域の企業聞き取り調査より—」『中国経済研究』第10巻第2号, pp. 21-43, 中国経済学会, 査読有.

③ Go Yano, Maho Shiraishi and Haiqing Hu (2013), "Property rights, trade credit, and entrepreneurial activity in China", *Journal of the Asia Pacific Economy*, Vol. 8, No.1, pp.168-192, 査読有.

④ Haiqing Hu, Maho Shiraishi and Go Yano (2012), "Ownership Effects for the Efficiency of Financial Intermediation through Trade Credit in China", *The Journal of Econometric Study of Northeast Asia*, Vol. 8 No. 2, pp. 43-64, International Centre for the Study of East Asian Development (ICSEAD), 査読有.

⑤ 白石麻保・矢野剛(2012)「人力資源的形成與經濟体制改革：作為改革開放時代的基礎的計画経済時代」許崇正大西広 楊帆等著『人的发展经济学新進展：中日“人的發展經濟學”第五次國際檢討會論文選』, pp. 234-246, 中国経済出版社, 査読有.

[学会発表] (計 9 件)

① Maho Shiraishi and Go yano (2014年5月17日), "An interpretation of planning economy era in China: Firms' behavior", An Ethnic Minority Area in China", Pacific Rim Conference 3: Financial and Economic Links and Institutions for Prosperity, ハワイ州, 米国.

② Maho Shiraishi and Go yano (2014年7

月 7 日), "An interpretation of planning economy era in China: Firms' behavior ", Euro Conference 2014, Society for the Study of Emerging Markets, ブダペスト工 科 経 済 大 学 (Budapest University of Technology and Economics), ブダペスト, ハンガリー.

③ Go Yano and Maho Shiraishi (2014 年 7 月 7 日), "Efficiency of Trade Credit and Bank Finance: An Ethnic Minority Area in China", Euro Conference 2014, Society for the Study of Emerging Markets, ブダペスト工 科 経 済 大 学 (Budapest University of Technology and Economics), ブダペスト, ハンガリー.

④ Maho Shiraishi and Go yano (2014 年 12 月 6 日), "An interpretation of planning economy era in China: Firms' behavior " 第 7 回人間発達の経済学日中会議, 於 慶應義塾大学.

⑤ Maho Shiraishi (2013 年 8 月 3 日~8 月 4 日), "An interpretation of planning economy era in China: Relationship firms and Local government could make the development at that time?", Instructions about the World Economic Development Society 2013 Annual Conference and the 7th International Symposium on Human Development Economics, 安徽大学 (Anhui University), 合肥(Hefei), 安徽省, 中国.

⑥ Maho Shiraishi (2013 年 8 月 25 日~8 月 30 日), "An interpretation of planning economy era in China: Firms' behavior and development", The 59th World Statistics Congress of the International Statistical Institute, Hongkong Convention and Exhibition Centre, 香港, 中国. .

⑦ Go Yano and Maho Shiraishi (2013 年 12 月 24 日), "Factors in the Development of Trade Credit: Case Study of Provinces in China", 中国模式の政治経済学: 内源式发展的挑战, 於 復旦大学, 上海, 中国.

⑧ 白石麻保 (2012 年 9 月 8 日~9 月 9 日) 「対於中国長期經濟發展與流動資金分配効率性的実証分析 (Has Chinese Economy Been Ready for Reform in Planning Economy Era? - An Analysis of Working Capital Allocation Efficiency-)」日中共同シ

ンポジウム, 於 黒竜江大学, 黒竜江省ハルビン市, 中国.

⑨ 白石麻保 (2012 年 9 月 13 日~9 月 14 日) 「中国長期データを用いた企業行動に関する実証分析」経済統計学会第 56 回全国研究大会, 於 大阪経済大学.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
出願年月日 :
国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
出願年月日 :
取得年月日 :
国内外の別 :

[その他]
ホームページ等
なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

白石 麻保 (SHIRAISHI, Maho)
北九州市立大学・外国語学部・准教授
研究者番号 : 40425004

(2) 研究分担者

なし

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

なし

()

研究者番号：